

広報

やすらぎ

No.96 令和2年1月25日発行

2020年 ぶなの園

新年交賀会

令和になって初めてのお正月を迎え、1月6日には恒例の特養新年交賀会が開催されました。まずは今年白寿や米寿など歳祝いを迎える方が紹介され、次に子年生まれの6名の方が紹介されました。そのうち4名は今年で満96歳、つまり生まれ年を含めて9回目の子年。人生の年輪を感じます。無病息災を祈念しながらの手作りダルマの目入れは、住民を代表して高橋ナツさんにお願ひしました。筆で大きくしっかりとした目を入れてくださり、お祝いの拍手と甘酒で新年の幕開けを喜び合っております。令和2年もぶなの園で暮らす皆様にとって、穏やかで幸せな1年になることを職員一同願っています。



恒例のダルマの目入れ



社会福祉法人 やすらぎ会
理事長 高橋 一雄

敬頌新禧

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

元号が「平成」から「令和」へと変わり、新しい幕開けとなりました。この節目の年、法人の経営を通して、利用者の皆様、ご家族、そして町民の皆様が、安全で安心して暮らすことのできる福祉の充実に取り組んで参ります。単身高齢者の増加は予想外であります。財政難や人手不足で、今の制度のままでは利用者をカバーしきれない。地域全体で支える仕組みに変えていく必要が迫っています。「介護の社会化」を進めなければなりません。安全で安心して暮らすことのできる福祉の充実に取り組んで参ります。

行政による「公助」はもとより町民一人ひとりが取り組む「自助」や、地域が互いに助け合う「共助」の組み合わせによる福祉社会の構築が大事であります。

青年の「活力」、壮年の「実力」、老人の「知恵」がかみ合う「人間集団」による「福祉のまちづくり」を役職員一体となって取り組んで参ります。

町民の皆様の一層のご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年の主役はねずみ。

デイサービスがなの園

新年を迎えるにあたり、干支の飾りと絵馬を皆さんで作ることにしました。飾りは張子のねずみ。ガチャガチャの空き容器を使いピンク、黄色と鮮やかに色付けされたかわいらしいねずみが勢ぞろい。絵馬には、馬ではなく和紙のねずみと今年の願い事を貼り付けました。「元気一番」、「笑う門には福来る」、「楽しくデイに来たい」等々。皆さんの願い事が叶いますように。また、お正月には書初めやすごろく、かるた取りなどのレクを楽しみ、笑い声の多い新年のスタートとなりました。



最新機器で快適に

デイサービスがたくりの園

かたくりの園で平成6年の開設当初から使用していた特殊浴槽がかなり老朽化してきたため、最新の機器に更新し11月から使用を開始しています。特殊な車イスに座るとそのまま浴室に移動し浴槽と合体。すぐにきれいなお湯で一人用の浴槽が満たされ、気持ちよく入浴していただけるという優れたものです。利用者にとっても職員にとっても負担が少なく、しかも安心安全。「前より楽に入れるようになった」、「泡が出てきて気持ちいい」など、利用者の皆さんからうれしい声を頂戴しています。



寿司バイキング

待ちに待った食のイベント「寿司バイキング」。11月20日、今回も給食業者の職人さんが目の前で華麗に握ってくださいました。マグロ、サーモン、ハマチ、イクラ等々、ここで紹介しきれないくらい新鮮なネタがずらり。好きなだけ食べられるとのこと。職人の手さばきを見つめる皆さんの表情はやや興奮ぎみでした。さすがに何人前も食



目の前で握っていただきました

べられる方はおりませんでしたが、美味しいお寿司でお腹も心も十分に満たされたようでした。

紙芝居を楽しむ会

独特の雰囲気や物語の世界に引き込まれていくのが紙芝居。映像などとは違う味わいがあります。11月19日と26日、「紙芝居を楽しむ会」と題して、希望する方に参加していただきました。読み手は前施設長で現在は理事を務めていただいている平川縫子さん。町の図書室からお借りしてきた紙芝居を二話ずつ読んでいただきました。平川さんとの久々の再会に喜び、紙芝居のわくわく感も堪能



懐かしさを感じる紙芝居

し、参加した方々の表情はキラキラ。普段あまり行事に参加しない方が参加してくれたこともうれしかったです。

年末のお楽しみ♪ クリスマス忘年会

ぶなの園では毎年年末に「クリスマス忘年会」を開催しています。その名の通りクリスマス会と忘年会を一緒にして食べたり飲んだり、余興を楽しむイベントで、12月25日に行なわれました。テーブルいっぱいにお菓子や飲み物が並び、総括施設長のかけ声で乾杯。そしてステージでは最初に趣味の会の皆さんによる踊りが披露されました。「お座敷小唄」や「ドンパン節」など馴染みの曲で楽しんでいました。二組目は梅檀保育所の子どもたち、かわいい衣装を身に着



趣味の会の皆さん



子どもたちのかわいいダンス



サンタさん登場

けてダンス、歌などで会場を湧かせてくれました。ステージが終わるとサブライズでサンタクローズが登場し、子どもたち一人ひとりにささやかなプレゼント。賑やかな年末のひと時となりました。

和賀川 61 総括施設長 佐々木 一

■先日のNHKスペシャルで、認知症の検査指標を作った長谷川医師(90)のドキュメント放送があった。これを見て衝撃を受けた福祉関係者も多かったと思う。認知症の始まりは、「曜日の感覚がややふやになったこと」と言い、本人として「同じことを何度も聞くことに周りからはうっとうしがられる」、「今、こういうことを言っていないのか言わないほうがいいのか分からなくなり寡黙にならざるを得ない」と語っていた。■デイサービスでは「俺、あそこにいるとひとりぼっちなんだ。孤独で辛くて嫌になった」。スタッフには「何がしたいか、何がしたくないか、そこから始めて欲しい」との訴えに気付かされる。■「認知症は生きていくうえでの確かさが希薄になる。妻といるとその確かさが取り戻される」また認知症になっても「見える景色は変わらない」が印象に残る。■一日の終わりに妻に向かつて「ありがとう 瑞子」と感謝を伝える姿が心に響く。我々は介護のスペシャリストとしてみじめな思いをさせないよう日々寄り添う努力を怠ってはならない。

令和元年11月1日～12月31日

あたたかい善意を頂戴し

厚くお礼申しあげます

【ご寄付】

- ・東 英夫様
- ・高橋光市様

【ご寄贈】

- ・門脇ミヨ様
- ・沢内小学校様
- ・西和賀町商工会女性部様

【ボランティア等】

- ・川舟婦人会様
- ・趣味の会様
- ・梅檀保育所様
- ・ワークステーション 湯田・沢内様
- ・カトレアの会様
- ・佐藤敦士様
- ・高橋セツ様
- ・平川縫子様



あしあと

法人の主な動き

【11月】

- 1日 特養家族会及び研修会
- 5日 出張理容
- 7日 産業医健康講話
- 15日 広報やすらぎ発行
- 18日 出張理容
- 19日 紙芝居を楽しむ会
- 20日 寿司バイキング
- 26日 紙芝居を楽しむ会
- 在宅家族懇談会

【12月】

- 3日 出張理容
- 9日 夜勤職員健康診断
- 12日 心肺蘇生法講習会
- 13日 心臓蘇生法講習会
- 15日 特養映画観賞会
- 16日 特養家族会居室清掃
- 17日 出張理容
- 19日 デイぶな運営推進会議
- 24日 理事会
- 25日 特養クリスマス忘年会
- かたくりサロン事業 (21日まで)

やすらぎ会ホームページ
最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪



<http://yasuragikai.com/>

緊急募集(2月)随時面談

調理員・看護師
介護職員

年齢不問・意欲のある方・経験者優遇

まずは下記にお電話を

ぶなの園 総務課 (☎85-2322 佐々木まで)

編集後記

令和最初のお正月を迎え、気持ちを引き締め直している方も多いでしょう。「何も変わらない」ではなく、心がけや行動で「変える」ことはできます。令和の時代を懐かしむころには、今とは違う自分がいるかもしれません。

やすらぎ会広報委員会

- 地下恵里子 渡辺まい子
- 高橋知英子 丹波りか
- 高橋 渉

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389

【発行・編集】社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会